

愛媛医学会賞に2氏

越智氏(松山赤十字病 院)・河辺氏(愛媛大 学院)

県医師会員らでつくる愛媛医学会(村上博会長)は、医学や地域医療の向上に貢献した医師を表彰する第31回愛媛医学会賞に、松山赤十字病院肝胆膵内科の越智裕紀副部長(42)と、愛媛大学院医学系研究科児童精神医学の河辺憲太郎准教授(44)の2人を選んだ。

河辺氏は松前町の中学生を対象にインターネット依存について調査したところ、重度の依存者が4・3%に上り、ツイッターの利用が男女ともに大きな要因だと明らかにした。

若手医師を対象とする愛媛医学会奨励賞には、愛媛医療センター循環器内科の関谷健佑医師(37)、愛媛大医学部附属病院消化器・内分泌・代謝内科学の丸井香織院生医師(33)の2人を選出。地域医療に特段の貢献があった医師に贈られる県

医師会会長特別賞には、年に1度のがん健診受診による早期発見が、健康寿命の延伸や医療費軽減につながると示唆した久野内科の久野梧郎院長(78)が選ばれた。

賞は2022年に国内外の医学誌に掲載された論文の著者を対象に会員が推薦し、選考委員会で審査した。(増田有梨)

北海道・東北の94・8%(1・4増)が最も低く、中部の95・4%(1・6減)

戸惑いの声も上がる。来春卒業予定の上智大4年、垣内岳さん(22)は、今年2月に大手ゲーム会社へ

当時は毎「た」と振り返る。男田所長は「一定の長期化もしており、学生の負担になっている。在り方を見直すタイミングに来ているのではないかと話した。

る、重度の依存者が4・3%に上り、ツイッターの利用が男女ともに大きな要因だと明らかにした。

刈草隔遠

農家 農家 農家 農家 農家



農業分野のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する松山市は26日、同市浅海本谷の農業用ため池の大池で遠隔操作式刈り機の実証実験を行い、地元農家約20人が最新技術に触れた。

傾斜地など生産条件で不利な中山間地域の農家の負担軽減が目的。使用した刈り機は、作業中はエンジン、走行はモーターで動くハイブリッド仕様。刈り幅70センチ、刈り高3〜9センチで前後の最大傾斜角度25度、左右は45度まで対応できる。建設資機材のレンタルを手がける西尾レントオール(大阪市)松山営業所が協

この人

東日本大震災で全壊した岩手の陸前高田市立博物館で、学芸員としてただ一人生き残った。津波に流された一部は埋まっていた46万点もの昆虫標本や漁具を見つけて出し、修復して昨年11月に再オープン。半年たった

熊谷 賢さん

今、館内は以前のように子どもたちの声が響いている。同僚の学芸員3人は助からなかった。同市生まれ。自然好きで高校では考古学同好会に入り、市立博物館で荷物整理などを手伝った。大学でも考古学を専攻し、論文作成のため入り浸る日々。「博物館に育てられたよつなものと振り返る。民間企業を経て、1995年からはついに学芸員として勤め始めた。震災時は近くの「海と貝のミュージアム」に勤務しており、避難して一命を取

も得て収蔵品は次々と見つかった。除菌や脱塩をし、開館までに30万点が展示できる状態に。博物館はよみ



河辺憲太郎氏



越智 裕紀氏



久野 梧郎氏



丸井 香織氏



関谷 健佑氏



東日本大震災の津波で全壊した博物館をよみがえらせた学芸員

東日本大震災の津波で全壊した博物館をよみがえらせた学芸員

東日本大震災の津波で全壊した博物館をよみがえらせた学芸員